

新年のごあいさつ

学校長 柴田 義晴



新年、明けましておめでとうございます。

保護者の皆さまにおかれましては、お健やかに新年を迎えられ、志を新たにすでにご始動されていらっしゃるものと拝察致します。今年も、どうぞよろしくお祈り申し上げます。

今年午年、午に関することに「一に心、二に手綱、三に鞭、四に鐙」ということわざがあります。馬に乗る場合、まず馬と心を通じ合うことが重要で、心を通じ合っていないと頭が良い馬は乗り手を振り落としてしまうそうです。学校教育や家庭教育においても、子どもと一心同体で行かねばなりませんね。つぎに、手綱のさばき方が大切で、さばき方を誤ると乗り手の思う方向に馬を操れないということです。学校教育や家庭教育においても、子どもとの共感性を高め適時適切な手綱さばきに心掛けていきたいものです。そして、鞭の使い方が大切です。鞭は必要に応じて活用し奮い立たせて難局を乗り越え、向かわせなくてはなりません。学校教育や家庭教育においても、子どもには「飴と鞭を8:2の割合で！」進めることが肝要でしょう。最後は、鐙をしっかりと踏ん張って馬を導くことが大切です、これは馬と乗り手が一体となるために必要です。学校教育や家庭教育においても、地に足のついた教育が大切です、大きなスパン・長いスパンで子どもを観ていくことが必要です。「一に心、二に手綱、三に鞭、四に鐙」と言う一連の言葉は、教育者のみならず、親の子どもへの接し方にも等しいものがありますね。今年、午年、このことわざを念頭に、ご一緒に子ども達に接していきましょう。生まれたての子馬は生後1時間ほどでしっかりと立ち上がり、3時間もしないうちに駆けることができるようになることから、午年は『立ち上がり早い』とか『立身出世の象徴』とも言われています。飛躍の年、出世の年にしたいものです。

さて、三学期は、3つの学期の中では最も短い学期になります。6年生は残すところ後49日間の小学校生活、1～5年生は後53日間の登校日数となります。6年生とは、日光移動教室、観劇、富浦臨海、全校遠足等、一緒に出かけることが多くありましたが、残すは卒業遠足だけとなりチョッピリさみしい気が致します。下級生は、全校遠足後、6年生からリーダーのバトンタッチがなされました。この三学期は、次学年へ向かうための布石作りにしてほしいと思っています。そのためには、各学年の「復習」をしっかりしていくことと同時に、日々の学習に手綱を引き締めて進めてほしいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆さまには三学期の学校運営に際しまして、これまでと変わらずどうぞよろしくご支援、ご協力下さいます様、よろしくお願い申し上げます。また、前号にも申し上げた本校主催の全国公開研究発表会を1月25日に開催致します。その際には、運営等の面においてお力添え頂けますこと、心より御礼申し上げます。

今年一年がご家族皆さまにとって、
健やかで、至福の年となります様、
心よりお祈り申し上げます。

